

日本式の協力とは

昨年のサッカーワールドカップで、日本代表チームが試合後にロッカールームを整然と片づけたことや、観戦後にサポーターがスタジアムのごみを拾って帰る様子が「日本らしさ」として、世界中のメディアやSNSで称賛されたことは記憶に新しい。飲食店のおひやおしぼり、時刻通りに運行する公共交通機関、いつでもスムーズに動いているエスカレーター、暴風雨でも通行止めにならない高速道路……日本に住む私たちが当たり前と思っている日常に、開発途上国の人々にとっては新鮮な驚きと世の中をよくする知恵や技術が詰まっている。

今回は開発途上国の人々に、自分の生活に身近なところから国を支える根幹となる部分まで、「……だから、日本に協力してほしい」と思われたポイントを「日本式」として切り取った。

日本の知見や技術を活用してもらうには、相手国の課題にどう役立つかを十分に話し合い、共感と理解を得ることが重要だ。またJICA／日本にとっても、相手とともにプロジェクトを作り上げていくという謙虚な姿勢が求められる。

『mundi』初の試みとなる2か月連続の特集で、4月号の「生活編」では教育、保健、食などの身近な事例を、5月号の「国造り編」では、法制度やインフラストラクチャー等の国・社会全体を支える事例を「日本式」として紹介する。日本に住む私たちには、あらためて日本のよさを再発見する機会にもなるはずだ。

魚を食べよう
日本式



p.20

協調性を育む
日本式



p.06~13

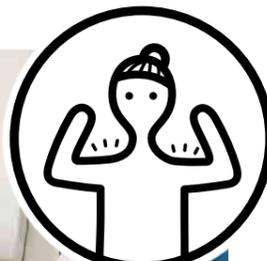
特集 日本式の協力 だから、日本式!

～生活編～

細やかな対応の
日本式



p.18~19



p.21



生き生き暮らす
日本式

ハイテクだから
日本式



p.14~17